

## 2012年度協定校留学近況報告書

記 入 日	2012年 11月 20日
留 学 先 大 学	華東師範大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語): 対外漢語学院, (現地言語での名称): 対外汉语学院</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2012年9月ー2013年1月
明治大学での所属	経営学部経営学科____専攻 / ____研究科____専攻
学年(出発時本学での学年)	学部4年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

**I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。**

**【しておいて良かったこと】** 大学1年生から継続的に行っていた中国語の学習。中国語以外の語学、文化、専門の勉強。中国への事前渡航(大学1年より継続的に。上海も含め中国10都市訪問)。

向こうでは中国語はできて他はさっぱりという学生は多いです。逆に言うと、中国語専門でもないのに、中国語を話せることは相当の強みです。そのうえで、世界中から集まっている留学生と多く交流するうえでは、多くの国、言葉、文化に対する理解が不可欠です。日本人と同じくらいいる韓国人留学生は、常に積極的に世界中の学生たちと交流しに行きます。実際にそういう姿を目にすると、少なからず引け目に感じることでしょ。専門の勉強をきちんとしている人は少ないです。くだけた会話に少しでも専門性のある話が出てくると、向こうでは一目置かれます。要は日本で過ごしてきたこと、学んだことすべてがそのまま中国での生活に活きます。

**【準備不足だったこと】**

目的の明確化はしつこいくらいにはつきりさせておきましょう。なんのための留学なのか。語学でも、人脈づくりでも、専門の勉強でも、なんでもいいです。もちろん交換留学においては建前はあると思いますが、できることなら一度現地へ足を運び、実際に留学している知り合い、先輩を訪れるといいです。現地での大学生活を知り、そのうえでどんな留学生活にしたいのか、地に足ついた思考で検討すること。東京から上海は3時間と少しで着きます。ビジネスで最も需要のある路線なので、航空券も安い。これを利用しない手はないです。

**【これから留学する方へ】**

中国語圏(大陸、台湾、香港、一部東南アジア等)への理解は深めておきましょう。明大で一番知っているというレベルになっても、留学すれば井の中の蛙です。それでも、多くを知っておくことで、この日本人は違う!と留学先でも一目置かれることでしょう。そういう人は、向こうへ行ってもうまくやっています。政治経済分野は、ひとまず自分で勉強しておきましょう。中国語圏の学生と日頃から交流、中国語と日本語の相互学習や遊びを経験しておくこと。留学しなくても国内でできることはたくさんあります。大陸の学生とは、QQや人人網のアカウントを作ってネット上でも交流しておくといいでしょう。音楽やドラマ、映画などの共通の話題についていけるとなおよいです。関心分野が広がれば、語学学習のモチベーションにもつながります。HSKは留学先の大学から指定されていなくても、日本にいる間にあるべく高い級を取得しておきましょう。向こうでもHSKは受けられますが、せつくなので留学中はほかのことに時間を使しましょう。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:F	申請先: 中国大使館
ビザ取得所要日数: 4 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 6000円程度

**ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?**

- 1, 記入済みの「中華人民共和国査証申請表」(表一:中英,中日; 表二:中英,中日)
- 2, 申請者のパスポート原本と写真ページのコピー。パスポートは6カ月以上有効期間があり、パスポートの空白ビザページが二ページ以上必要です。
- 3, 6カ月以内に撮影された証明写真一枚。サイズは縦4cm×横3cm, 無帽で正面を向いているもの。
- 4, 「JW201表」, 又は「JW202表」原本とコピー。
- 5, 入学通知書原本とコピー。
- 6, 「外国人健康診断記録」原本とコピー。

7,日本国籍以外の方は在留カードか外国人登録証かパスポートにある在留資格証明書の原本とコピー  
中華人民共和国日本大使館ホームページより(2012/11/20) <http://www.china-embassy.or.jp/jpn/lifu/hzqzyw/t938308.htm>.

具体的な申し込み手順を教えてください。

上に同じ。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

面接なし

ビザ取得に関して困った点・注意点

留学先大学から手続用資料が来るのが予想より遅れた件

## II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

携帯電話はついたらすぐに現地で購入しましょう。

## III. 現地到着後のながれ

### 1. 到着時の様子

利用航空会社	全日本空輸(ANA)				
航空券手配方法	スカイスキナー(世界中の格安航空券を一気に検索、比較できるサイト) <a href="http://www.skyscanner.jp/">http://www.skyscanner.jp/</a> (2012年11月20日) ※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	上海虹橋国際空港	現地到着時刻	12時05分(昼)		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 知人の出 迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	20分程度				

### 空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

留学初日は荷物が多いと思うので、移動はなるべくタクシーの利用をお勧めします。中山北路キャンパスの場合は、だいたい20~30分程度。料金は40~50元程度です。虹橋空港の国際線は、日本、韓国、香港、マカオ、台湾からの便しか発着していません。空港に来ているタクシーは、街中のタクシーよりも外国人慣れしていると思います。

※あまりにも日中関係が悪い時期なら、日本人ではなく韓国人等、他の外国人であると名乗った方がいい場合もあります。

大学到着日	9月1日13時頃
-------	----------

### 2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(国際交流サービスセンターという、寮・ホテル一体型マンション)	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(なし)	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	国際交流サービスセンターに到着後、指示に従って部屋のタイプを選び、部屋代、デポジットを支払う。必ず半年/一年の部屋代を現金で用意しておくこと。かなりの大金ですが、事前に支払わないと部屋には入寮できません。また入寮手続は遅くと夕方5時には終了します。上海にはなるべく昼ごろについての方がよいでしょう。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

特になし。

### 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
--------------	-----------------------------------------------------------------------

日程	9月4日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容と様子は？	オリエンテーションというよりも、中国語以外の授業の案内のガイダンス。任意で受講可。別料金。全編英語。不参加者も多かった。
留学生用特別ガイダンス	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月10日から

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

##### 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

居留許可手続き。到着後30日以内に行う必要あり。事前に日本に送られてくる資料に詳細があります。基本的には上海市公安局が大学に出向いて、パスポートを1週間～10日程度預ける形で行われます。大切なことなので、現地の留学生事務室、及び長期で滞在している日本人等、知り合いを作って確認しておきましょう。

##### 2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

健康診断は中国渡航前に受けていない人のみ。健康診断結果は必ず持参すること。

##### 3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

到着日に知人の中国人の方と。要パスポート。

##### 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

到着日に知人の方と。携帯ショップへ。パスポート必要。当日購入可能(混雑時はわかりません)。番号開設自体にはそれほどお金はかかりません(200元程度?)。私の場合はハイアール製の500元のチープなスマホ。留学生は電話とSMS(短信)が使えれば充分。長期滞在の人ほど、スマートフォンや高性能携帯を購入している率が高いです。

#### V. 履修科目と授業について

##### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

- 出発前に( 月 日頃)  
オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他( )  
到着後に(9月6日頃)  
オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他( )

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

学生登録の日に、全学生の中に交じって行う。留学生だからといって優遇はなし。対外漢語学院の建物内で、先生と中国語で一人一人5分程度の簡単な面接を通して、クラスを決める。授業開始後1週間以内ならクラス変更可能。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

##### 2. 履修単位数

一学期の登録単位数・科目数を教えてください。  
4科目8単位  
多すぎた ちょうど良い 少なすぎた

留学先大学の学生は週平均何科目とるのが一般的ですか？ 4科目/週(15時間)ぐらい

### 3.授業内容

現在までに受講している授業はどのように授業が進められていますか？(予復習，テスト準備など，アドバイスもご記入下さい。)(下記授業の履修時期： 年 月から 年 月)

No.	コース名／教授名	時間数／週	留学先での単位数
1	閲読／樊先生	90分授業が4コマ	2

読解の授業。毎週単語テストがある。課題文の背景知識を前提にした、発表課題も多く、宿題の多くはこの授業のものが多い。

2	口語／何先生	90分授業が3コマ	1.5
---	--------	-----------	-----

会話を中心とした授業。クラスメイトでグループをつくり、ロールプレイを発表するなど、クラスの雰囲気がいい授業。先生と学生も気軽に質問しあえる環境。

3	報刊／何先生	90分授業が1コマ	0.5
---	--------	-----------	-----

口語と同じ先生が同日に行う。基本的に中級クラスに設置。内容が新聞の精読が中心。宿題は新聞の記事に関する感想・意見などの中国語作文。

4	聴力／愈先生	90分授業が2コマ	1
---	--------	-----------	---

リスニング教材でひたすら問題を解いていく忍耐の必要な授業。先生は毎朝はじめに自分の好きな中国語ポップスを動画サイトで流し、学生と一緒に歌うよう促すが、学生全員しらかムードである。登録上の参加者は20名強だが、参加者は5、6名程度。

### VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床	起床	起床	起床		
9:00	授業	授業	授業	授業	授業		起床
10:00						起床	魯迅公園の日語角に参加。中国人が朝から公園に集まり、お互い日本語で世間話をする。若者の参加は比較的少ない。日本人は少なめだが、中国人同士でも日本語で話しているのでおもしろい。
11:00							
12:00	昼食。クラスメイト	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食は、日本語角で仲良くなった人と食べることも多い。つまらない場合は帰宅することも。
13:00			近所のスーパーへ買い物。大学正門にはウォルマートが隣接しており、たいいの生活必需品はここで手に入る。留学生寮に住んでいる学生たちは、裏門から近いテスコ			友人と古北エリアへ買い物。日本人をはじめ、多くの外国人が住むエリア。レストランやスーパー、娯楽施設が充実。個人的には映画、ドラマのDVDを買いに行くことが多い。	

			に買いに行くことも多い。テスコの入るショッピングモールには、ユニクロ、H&M、C&A、しまむらなどの衣料品店、すき屋、大戸屋、味千ラーメンなどの日本料理店等、ちょっとしたショッピングモールになっていて大変便利。				
14:00							人民公園で毎週開かれている英語角に参加することもある。上海中？から英語を話したがる中国人が集まり、英語のみで世間話をしている。欧米人、ネイティブスピーカーの参加は少ない。
15:00						帰宅。部屋でDVDを見るなど。	
16:00							
17:00	友人とランニング、筋トレ。運動場には夕方から深夜にかけて大学内に住む学生、住人がおもしろい運動をしている。			友人とランニング、筋トレ。			
18:00	夕食。夕食は日本人の友人と行くことが多い。大学裏門の通りには気軽な食堂がたくさんある。ファストフード店などは大学近くにはない。	上海理工大学の日本語自主ゼミに参加。日本語で日本の概況について、中国人学生のプレゼンを聴いたり、自分が日本人代表としてプレゼンを行うことがある。	夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00			同済大学の日本語角(日本語フリートークのコーナー)に参加。大学内外の日本人、中国人が集まり、毎週様々なテーマについて自由に話し合う。				
20:00							
21:00		夕食					
22:00							
23:00		帰宅	帰宅				
24:00							

## Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

### 【大学全般】

華東師範大学で語学を学ぶ場合は、キャンパスの半分以上が留学生の、中山北路キャンパスで学ぶこととなります。最寄りの駅へは正門から約 10 分。市の中心へのアクセスも良く、上海での生活は快適に送れますが、その分同世代の中国人との交流はどうしても少なくなります。人それぞれ留学の目的は違うと思いますが、個人的に中国人の友人を持つ工夫をするといいです。私の場合は毎週日曜日に行われる日本語話者が集まる会で他大学の学生と知り合い、そこから他大学に遊びに行くようになり、たくさんの中国人の友人ができました。一方、専門の勉強をする学生は、市街地のキャンパスから高速道路で40～50分ほどかかるミンハン(闵行)キャンパスで学ぶこととなります。こちらは逆に日本人も含め、ほとんど外国人がおらず、周囲に一切の娯楽がないキャンパスになるので、週末以外は勉強ばかりの退屈な日々になると思います。

### 【宿舎】

留学生が主に住むのは留学生マンションですが、私は国際交流サービスセンターというホテル一体型の宿舎に住んでいます。留学生マンションは良くも悪くも中国的な寮で、宿泊費は安いですが、シャワーの温水使用時間制限や、プライベートがほとんどない環境など、長期間の滞在ではデメリットも多い場所です。一方私の住む宿舎は、毎日清掃やベッドメイクも入り、室内にトイレ、シャワー、洗面台があるので気が楽です。長い留學生活で、ストレスなく勉強や活動に励むには、国際交流サービスセンターでの生活がおすすめです。

### 【上海での暮らしについて】

上海は短期滞在者も含めると、常に 10 万人の日本人がいるといわれています。せっかくなので、学生に限らず社会や現地在住の人とも交流を深めてみましょう。日本人在住者が多い環境で日本と同じ感覚で住め、かつ外国人とも日常的に暮らす生活は、中国はもちろん世界でもなかなかない環境です。ある面では東京以上に国際的で、発展著しく独自の海派文化が広がる上海での生活は、毎日が刺激的なものになること間違いなしです。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

### 【日本でできることは事前にすべて行っておくこと】

進路や就職活動についても、いろんな人にあって積極的に動いたうえで、留学に行く前に見通しを立てておきましょう。留学先で語学の勉強する人が多いですが、はつきりって時間の無駄です。僕は就職活動、卒業要件をすべて満たしたうえで、大学 4 年から半年間の留学をしましたが、確固たる目標があるのであれば、1 年間の留学をお勧めします。半年では向こうでの生活に慣れたころ、人間関係ができあがったころに帰国となってしまいます。私は留学選考の段階では、本科の授業を取りたいという体で選考に通過しましたが、実際に上海では中国語学習のみをしています。半年にしろ 1 年にしろ、はじめから本科の学生に交じって授業を受けることは、相当の中国語能力がないと難しいと思います(実感としては HSK6 級を持っていて中国で何年か生活したことがあるレベル)。実際、交換留学で専門を学びに来た学生でも、授業登録で語学のみクラスに替えられてしまうことはよくあります。そんなこともあり、華東師範のほとんどの留学生は、市街地の方のキャンパスで中国語学習に終始しています。

### 【上海に住むメリットを思いまくること】

留学したら、留学先でしかできないことに全神経を集中させてください。日本人との交流をするなどとは言いません。むしろ、上海でしか会えない日本人(上海在住で仕事をされている方等)とは興味があるのであれば積極的にかかわっていきましょう。とにかくたくさんの方がいる場所なので、そのメリットを生かさない手はありません。